

市民の手による放射能汚染監視に向けて

ちくりん舎の現状と課題

ちくりん舎（市民放射能監視センター）副理事長

青木一政

ちくりん舎について

ちくりん舎のポリシー

- ゲルマニウム半導体測定器による高精度測定で環境保護団体、脱原発団体、市民測定所や個人の要望に応えます。
- この目的に沿う範囲で広く団体、個人からの測定依頼についても受け付けていきます。
- 測定結果やそれに基づく報告書は基本的に全て公開します。
- 低線量被ばくの危険性についての調査・研究・学習・セミナーなどを行います。

高精度測定を支える顧問の方々



神戸大学海事科学部教授
(放射線計測学)
山内知也氏



駒ヶ岳法律事務所弁護士
元東京都公害研究所理学博士
梶山正三氏



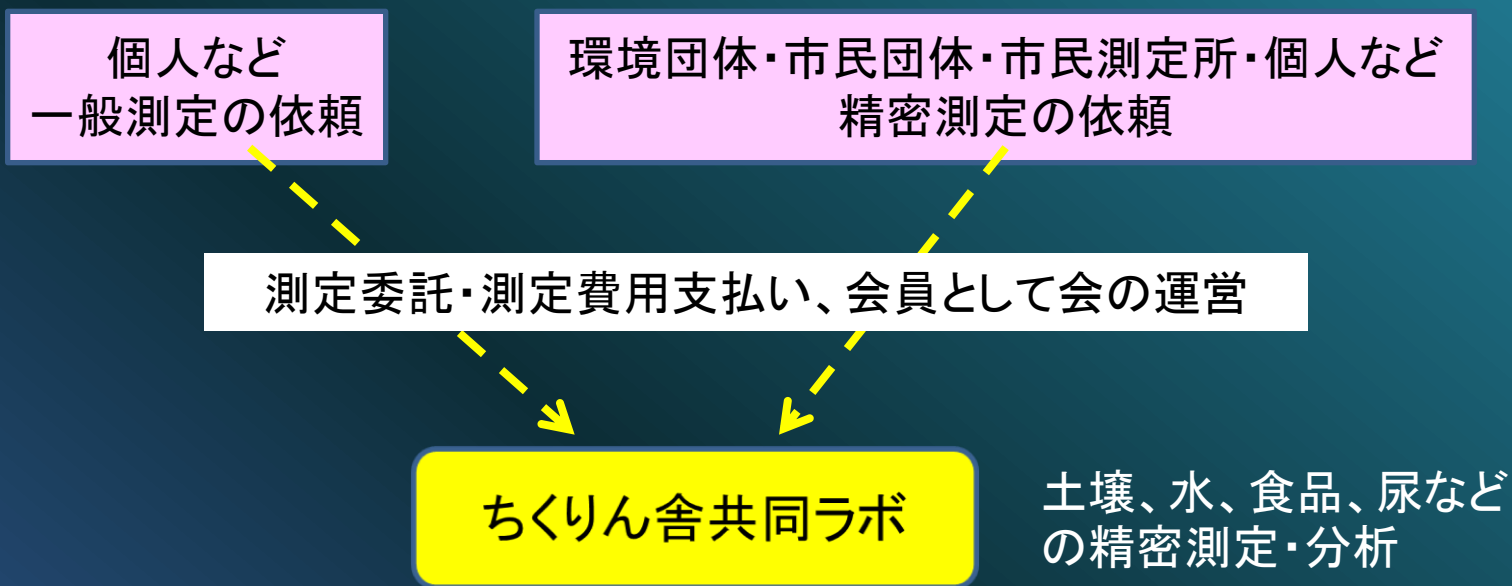
元立教大学教授
(放射化学)
佐々木研一氏



仏市民放射能分析NGO-ACRO
理事長
(核物理学者)
David Boilley氏

「市民が自ら測定し監視する」を合言葉に

- ちくりん舎は行政から独立して放射能汚染を監視・測定、情報発信する市民団体・個人の共同ラボです。
- ゲルマニウム半導体測定器による高精度測定で環境NGO、脱原発団体、市民測定所や個人の要望に応えます。



ちくりん舎の設備

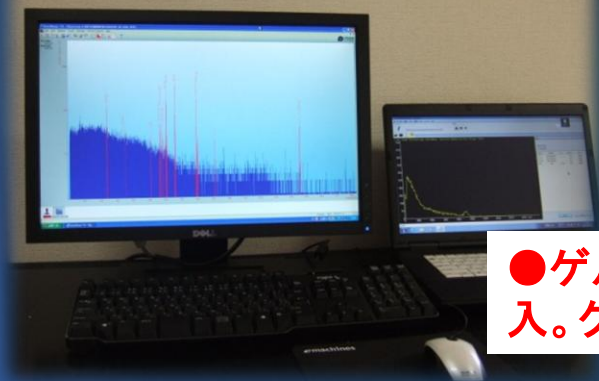


●ゲルマニウム半導体測定器

- 高純度ゲルマニウム (HPGe) Pタイプ、相対効率50%以上
- デジタルデータ収集システム: ORION、Itech technologies社製
- 解析ソフト: InterWinner7.0 / Itech technologies社製

●NaIシンチレータ測定器

- AT1320A ベラルーシATOMTEX社製



●ゲルマニウム半導体測定器は全く同一システムをACROにも導入。クロスチェック、トラブル時の解析等に備えている。